

インターンに参加して

早稲田大学 先進理工学部生命医科学科 2年 古賀夢乃
(配属先：再構成生物学研究ユニット)

研究テーマに興味を持ったのと、最先端の研究を見てみたいと考えて参加しました。参加して得られたものは、想像以上に多かったです。

まず、期間中、ほとんどの時間を配属研究室で過ごせたので、実際の研究生活を垣間見ることができました。PIの戎家先生をはじめ、研究員の方たちからは、実験や発表についてのみならず、研究者としての将来に至るまで、たくさんの助言をいただきました。何より、研究者の方たちが、研究について本当に楽しそうに話してくださる姿は、とても素敵で、私もこういう大人になれたらいいな、と強く思わせるものでした。

また、五日間で仮説を立てて実験し、その結果から考察し発表する、という研究の一過程を行えたので、まだ誰も答えを知らないものを解き明かしていくことの楽しさを体験できました。「あなたはと思う？」と、常に私の意見を聞いてくださったのもすごく貴重な経験でした。第一線の研究者に対し、自分の意見を述べるのは非常に緊張することでしたが、どんなにつたない言葉にも、真摯に耳を傾け、丁寧に応えてくださいました。

加えて、視野を広げることができました。オープンラボや懇親会など、配属研究室以外の研究者と直接お話しする機会も多くあり、CDBでは、同じ「発生」という興味を共有しつつも、多様な切り口とアプローチで研究が行われていることに驚きました。また、異なる背景を持つインターン生たちとの交流を通じ、自分とは違った興味や考え方に会ったことも刺激的でした。色々な視点から見てみると、慣れ親しんでいるはずのものでも、また違って、より面白く見えてくることは新鮮でした。

学べば学ぶほど、考えれば考えるほど生物学は面白く、毎日CDBに通うのがとても楽しみな五日間でした。このような素晴らしい機会を下さった、戎家研究室の皆様、各先生方、事務局の方々に、心から感謝いたします。



研究発表会での古賀夢乃さん